

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分なスペースが確保できている
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段階の解消のためのスロープがある。
適切な 支援の 提供	4	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談員や保護者等から得た情報によって計画を作成している。
	5	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			成長療育支援システムHUGを導入している。
	6	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		近隣の公園に出たり、毎月の体育館イベントや野外活動を組むようにおこなっている。
	7	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちが希望するイベントをするなど、工夫して対応していた。
	8	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用された日に関わらず、利用している利用児に応じて必要な支援を行なっている。
	9	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動が苦手な利用児に無理に参加はさせていないが、個別活動から徐々に複数人で関わられるように支援している。
	10	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			送迎の関係で支援開始前には難しい日は、ノートやサービス提供中に情報交換を行なっている。
	11	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎の関係で支援開始後に難しい日は、次の日やノートにて情報交換を行なっている。
	12	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			成長療育支援システムHUGにて毎日記録をとっており、支援の内容について情報共有を行なっている。
	13	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に行なっている。
	14	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			地域交流以外は可能な限り出来ている。

業務改善	15	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々の支援の中で必要な改善について、常に行っている。
	16	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを受け、利用児に対してさらなる丁寧な支援を行なっている。
	17	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	18	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者外部評価の設定をしていない。
	19	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			オンラインまたはオフラインでの外部研修や、自社での研修企画や子ども支援部会の研修などに参加している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			出来ている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			気になることがあれば常に学校や担任に連絡するようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在医療ケア児は利用していないが、必要に応じて連絡体制は整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	相談支援事業所を通して情報を頂くことがほとんどであり、共有を行なうことは少なかった。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	障害福祉サービスへ移行する利用児がいなかった。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			オンラインまたはオフライン研修などが増え、研修の機会が増えた。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			近隣の公園に来ている児童等と一緒に活動を行なっている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や電話連絡など、常にコミュニケーションを図っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			相談があれば対応している。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			出来る限り要点を伝え、大事な部分を伝えられるように努めている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があれば対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	開催する機会がなかったが来年度は開催予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際には迅速かつ適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			室内等で行なっている活動をSNS等で発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			十分注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			情報によっては繊細なものもあるので、配慮を行ないながら情報伝達を行なっている。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	不特定多数の方が入ることに不安を感じる利用児もいるので実施していない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルの作成、周知をしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に行なっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	対象となる利用児はいないが、必要に応じて委員会で対応を検討する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	対応する利用児がない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ファイルを作成し共有している。